

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 樋口 勤
 (氏名) 古川原 英彦
 TEL 0256-33-3987
 配当支払開始予定日 平成26年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	22,385	2.0	343	△6.0	367	△6.3	217	7.9
26年3月期第2四半期	21,948	5.4	365	5.8	392	6.4	201	7.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 216百万円 (12.4%) 26年3月期第2四半期 192百万円 (15.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.05	—
26年3月期第2四半期	20.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
27年3月期第2四半期	15,145		5,418	35.8			550.46	
26年3月期	15,430		5,201	33.7			528.38	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,418百万円 26年3月期 5,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
27年3月期	—	5.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	4.7	920	10.2	950	7.0	500	47.0	50.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	10,833,000 株	26年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	989,078 株	26年3月期	989,037 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	9,843,924 株	26年3月期2Q	9,843,979 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策及び日本銀行による金融緩和政策により国内景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら消費税率が引き上げられた4月以降、駆け込み需要の反動や消費者物価の上昇、夏場の天候不順により依然として不透明な経済状況が続いております。

食品業界におきましても、物価上昇による消費者の節約志向は続いており、また業種・業態を越えた価格競争の激化や急速な円安による食品原料価格の上昇、慢性化しつつある人手不足など依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは『より良いものをより安く』の理念のもと、「安全・安心」で低価格な商品を提供するために競争力のある収益構造の構築を目指し、更なる企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は223億85百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は3億43百万円（前年同期比6.0%減）、経常利益は3億67百万円（前年同期比6.3%減）、当四半期純利益は2億17百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動による影響は酒類などの賞味期限の長い一部の商品に留まり、日配品や加工品の売上は伸び悩んだものの、生鮮部門の中でも肉・魚・惣菜の売上は順調に推移し、粗利益率は前年に比べ上昇いたしました。

「業務スーパー」部門につきましては、青果や精肉を積極的に取り入れお客様の利便性の向上を図ってまいりましたが、開店して間もない店舗の売上が予定を下回る状況で推移したことに加え、物流費の値上がりも大きく影響し、利益面では前年より減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は158億20百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益は3億76百万円（前年同期比42.2%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、前連結会計年度より始めたパンの販売を順調に拡大し、宅配弁当との相乗効果が現れたことに加え、一部店舗で「鍋」や「麺」を取り入れた日替わりメニューの販売を始めるなど、積極的に商品開発にも取り組みました。また、事業縮小を行った同業他社より新潟県柏崎市エリアの顧客を譲り受けたこともあり、当第2四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は74,700食（前連結会計年度末比3.6%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は32億91百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は2億11百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

(食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、新規顧客獲得に向けたキャンペーンなどの販促活動を積極的に行ってまいりましたが、他業種による食品宅配サービス等の拡大などから既存の顧客数が減少し、売上高は減少いたしました。また、原価においても食品原料価格の値上がりなどが影響し、利益面でも前年を下回る厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は23億74百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は1億17百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

(惣菜製造事業)

「惣菜受託製造」部門につきましては、コンビニエンスストア向け惣菜の受託量が計画には及ばず、製造経費の低減にも努めたものの対応が間に合わず、予定していた売上や粗利益が確保できず厳しい状況で推移いたしました。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）部門につきましては、競合他社との価格競争の影響から新規代理店数も減少しており販売食数は予定を下回る状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は5億29百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント損失は62百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館「海風亭 寺泊 日本海」につきましては、旅行代理店からの送客が多く日帰りの来客数は増加しましたが、地域全体における県外からの観光客の減少により宿泊者数は前年を下回る結果となりました。

その他の外食部門として、新潟市が誇る食と花の魅力を発信する複合施設「いくとびあ食花」内に、季節感あふれる料理をビュッフェスタイルで提供する「キラキラレストラン」(新潟市中央区)、ならびに同市が農業を学ぶ場を提供する教育ファーム「アグリパーク」内に、かまど炊きにこだわったご飯をメインとした「農家れすとらん米どころん」(新潟市南区)をともに6月下旬オープンいたしました。出店に係る費用と、施設への来場者数が当社の予想を下回り厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は3億70百万円(前年同期比28.2%増)、外食部門の出店費用によりセグメント損失は1億25百万円(前年同期はセグメント損失33百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円減少し、151億45百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億1百万円減少し、97億27百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億17百万円増加し、54億18百万円となりました。この結果、自己資本比率は2.1ポイント上昇し、35.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成26年5月14日)の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の基礎となる期間の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく決定方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する決定方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が85,264千円増加し、利益剰余金が55,106千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,150,826	1,737,563
売掛金	981,591	941,705
商品	1,168,547	1,264,732
原材料及び貯蔵品	152,389	143,587
その他	434,563	492,626
貸倒引当金	△9,043	△5,442
流動資産合計	4,878,875	4,574,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,721,523	4,679,408
土地	3,062,074	3,059,647
その他（純額）	649,121	633,840
有形固定資産合計	8,432,720	8,372,896
無形固定資産		
のれん	713	8,325
その他	291,361	272,685
無形固定資産合計	292,075	281,010
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	102,815
その他	1,843,500	1,830,914
貸倒引当金	△17,047	△16,675
投資その他の資産合計	1,826,452	1,917,055
固定資産合計	10,551,247	10,570,962
資産合計	15,430,123	15,145,734
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,616,784	2,437,942
短期借入金	1,177,002	1,052,728
未払法人税等	110,860	170,287
賞与引当金	192,060	206,507
その他	1,170,826	1,264,605
流動負債合計	5,267,534	5,132,070
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	2,587,148	2,162,488
リース債務	254,498	279,175
退職給付に係る負債	1,348	19,671
役員退職慰労引当金	355,918	369,718
資産除去債務	460,296	474,408
その他	502,035	489,499
固定負債合計	4,961,244	4,594,961
負債合計	10,228,779	9,727,032

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,761,133	4,979,116
自己株式	△751,582	△751,613
株主資本合計	5,178,041	5,395,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,625	11,652
退職給付に係る調整累計額	13,676	11,056
その他の包括利益累計額合計	23,302	22,708
純資産合計	5,201,344	5,418,702
負債純資産合計	15,430,123	15,145,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	21,948,364	22,385,982
売上原価	16,521,712	16,811,662
売上総利益	5,426,652	5,574,319
販売費及び一般管理費	5,061,324	5,230,766
営業利益	365,328	343,552
営業外収益		
受取利息	220	186
受取配当金	5,530	4,173
その他	54,440	43,243
営業外収益合計	60,191	47,602
営業外費用		
支払利息	23,019	21,469
その他	9,732	1,745
営業外費用合計	32,752	23,214
経常利益	392,767	367,940
特別利益		
固定資産売却益	19	—
投資有価証券売却益	—	404
受取保険金	—	3,420
特別利益合計	19	3,824
特別損失		
減損損失	—	2,426
災害による損失	—	9,683
その他	29,491	620
特別損失合計	29,491	12,730
税金等調整前四半期純利益	363,296	359,034
法人税、住民税及び事業税	68,457	157,113
法人税等調整額	93,714	△15,098
法人税等合計	162,172	142,015
少数株主損益調整前四半期純利益	201,123	217,018
少数株主利益	—	—
四半期純利益	201,123	217,018

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201,123	217,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,561	2,026
退職給付に係る調整額	—	△2,620
その他の包括利益合計	△8,561	△594
四半期包括利益	192,562	216,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,562	216,424
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	363,296	359,034
減価償却費	313,509	304,042
減損損失	—	2,426
災害損失	—	9,683
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,400	13,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,045	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,729	△3,972
賞与引当金の増減額(△は減少)	797	14,447
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△17,551
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	18,323
受取利息及び受取配当金	△5,750	△4,359
支払利息	23,019	21,469
固定資産売却損益(△は益)	△19	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△404
店舗閉鎖損失	1,679	—
売上債権の増減額(△は増加)	153,321	40,268
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,236	△92,090
未収入金の増減額(△は増加)	47,675	4,617
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△27,755	△58,727
仕入債務の増減額(△は減少)	△180,663	△178,841
未払消費税等の増減額(△は減少)	△619	78,573
未払費用の増減額(△は減少)	△2,161	26,298
預り保証金の増減額(△は減少)	△7,586	△9,407
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△186,867	△18,174
その他	41,816	90,795
小計	524,368	600,250
利息及び配当金の受取額	5,750	4,359
利息の支払額	△22,292	△20,907
法人税等の支払額	△142,965	△98,367
災害損失の支払額	—	△2,402
法人税等の還付額	249	61
営業活動によるキャッシュ・フロー	365,110	482,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,513	△10,811
定期預金の払戻による収入	28,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	36,898
有形固定資産の取得による支出	△410,238	△192,051
無形固定資産の取得による支出	△6,491	△12,808
出資金の払込による支出	—	△100
敷金及び保証金の差入による支出	△20,096	△68,363
敷金及び保証金の回収による収入	3,334	2,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426,005	△244,925

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	649,255	—
リース債務の返済による支出	△52,702	△59,232
長期借入金の返済による支出	△670,799	△548,934
自己株式の取得による支出	△30	△31
配当金の支払額	△54,021	△53,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,297	△662,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189,192	△424,074
現金及び現金同等物の期首残高	1,224,605	2,006,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,035,412	1,582,906

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	15,464,615	3,213,328	2,438,436	543,357	288,626	21,948,364	—	21,948,364
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,493	73,742	—	—	14,160	89,396	△89,396	—
計	15,466,108	3,287,070	2,438,436	543,357	302,787	22,037,761	△89,396	21,948,364
セグメント利益 又は損失（△）	264,951	170,072	132,808	△17,674	△33,770	516,386	△151,058	365,328

（注）1 セグメント利益又は損失（△）の調整額△151,058千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△195,752千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	15,820,063	3,291,415	2,374,538	529,833	370,131	22,385,982	—	22,385,982
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,435	67,579	44	—	1,445	70,505	△70,505	—
計	15,821,499	3,358,995	2,374,582	529,833	371,576	22,456,487	△70,505	22,385,982
セグメント利益 又は損失（△）	376,796	211,965	117,050	△62,319	△125,678	517,815	△174,262	343,552

（注）1 セグメント利益又は損失（△）の調整額△174,262千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△183,364千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失はありません。